

しんあい

季刊

社会福祉法人
多摩同胞会

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10
TEL042-367-8801

多摩同胞会のホームページでは、
ブログを毎日更新しています。

<http://www.tama-dhk.or.jp/>
をぜひご覧下さい！

2015年(平成27年)11月5日発行 第96号 ◆編集と発行 しんあい編集部



泉苑

- ・特別養護老人ホーム信愛泉苑
- ・高齢者在宅サービスセンター
泉苑ケアセンター

緑苑

- ・養護老人ホーム信愛寮
- ・特別養護老人ホーム信愛緑苑

あさひ苑

- ・府中市立特別養護老人ホームあさひ苑
- ・府中市立あさひ苑
高齢者在宅サービスセンター

神田事業所

- ・特別養護老人ホームかんだ連雀
- ・かんだ連雀高齢者
在宅サービスセンター
- ・千代田区立岩本町ほえみプラザ

児童福祉

- ・子ども家庭支援センターしらとり
- ・母子生活支援施設白鳥寮
- ・母子生活支援施設網代ホームきずな
- ・府中市子ども家庭支援センターたち

- ・新・介護保険を考える14
- ・しらとり学習サポートサロン
- ・施設だより
「収穫の秋」



新・介護保険 を考える 14

－ 特別養護老人ホームの 利用者負担の変化 (その2) －

理事長 鈴木 恂子



前号(95号)では、平成27(2015)年8月から改正となる利用者負担の変化を整理しました。今号では、具体的に利用者のひとりの負担額がどのように変化するのか、そして連動する介護報酬の変化、結果として施設収入の変化をまとめてみました。

平成18年度からは基本サービス費が大幅に減額し、加算項目が増えて、ケアプランによって個別の加算が算定されるようになり、その傾向は改定ごとに多様化、複雑化しています。加算の多くは、医療職の必置職員の配置が条件となり、各種加算は人件費の支出増につながります。また当然、利用者負担も増額します。

ここではわかりやすくするために、加算を除いて、基本サービス費のみで比較してみました。

補足給付なしの☆計の欄でみると、保険給付と利用者負担の比率が次第に変化し、保険給付が減じて、利用者の負担が増えています。利用料が2割になると、特別養護老人ホームの運営費の38%は利用者負担となります。今回は多床室で例示しましたが、従来型個室(一日1,150円)やユニット型個室(一日1,970円)の居住費で補足給付がなくなるとかなり高額になります。ちなみに平成15年以降、国が基準とする特別養護老人ホームはユニット型個室になっています。

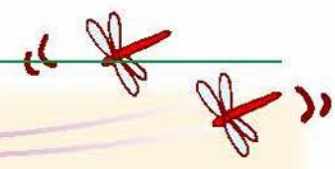
衣食住を保障していた特別養護老人ホームは、介護老人福祉施設となり、食事代や居住費の本人負担が増してくると、福祉施設としての機能が次第に薄れ、特別養護老人ホームも経済力がないと利用できなくなりそうです。

年次		平成12(2000)年	平成18(2006)年
説明		老人福祉法の措置費(事務費+事業費)を基準に移行。事業費(生活費)も介護報酬に一本化し、人員配置が4:1から3:1に変更されました。	平成17(2005)年度より、食費居住費が利用者負担となりました。負担軽減のため保険料段階により負担限度額を定め、差額を補足給付されました。
例示		要介護4(職員配置3:1)	要介護4・多床室・負担段階2
介護報酬	基本サービス	279,000円(一日930単位)	255,300円(一日851単位)
	保険給付	251,100円(9割)	229,770円(9割)
	利用者負担	27,900円(1割)	25,530円(1割)
食費	基本食事サービス費	63,600円(一日2,120円)	41,400円(一日1,380円)
	補足給付		29,700円(一日1,380円-390円=990円)
	保険給付	40,200円(一日1,340円)	0円
	利用者負担	23,400円(一日780円)(区市減額有)	11,700円(一日390円 負担限度額)
居住費	居住費		9,600円(一日320円)
	補足給付		
	利用者負担		9,600円(一日320円 光熱水費相当)
☆ 補足給付	保険給付計	291,300円 [85%]	229,770円 [75%]
	利用者負担計	51,300円 [15%]	76,530円 [25%]
	合計	342,600円	306,300円
補足給付あり	保険給付計		229,770円 [75%]
	補足給付計		29,700円 [10%]
	利用者負担計		46,830円 [15%]
	合計		306,300円
金額(万円)		0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 26 28 30 32 34 36	0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 26 28 30 32 34 36
補足給付なし		291,300	229,770 76,530
補足給付あり			229,770 29,700 46,830

※月額：30日。介護報酬は1単位=10円で算出。

		平成27(2015)年8月	
説明		負担を緩和していた補足給付対象者要件が厳しく見直されました。多床室の居住費は光熱水費相当分で4月に50円上り、8月には居住費として840円になりました。	施設サービスに限らず、一定所得以上の利用者負担が2割になりました。補足給付の対象外になり一気に負担増となる人もいます。(A→B)
例示		要介護4・多床室・負担段階2・1割負担	要介護4・多床室・2割負担
介護報酬	基本サービス	224,700円(一日749単位)	224,700円(一日749単位)
	保険給付	202,230円(9割)	179,760円(8割)
	利用者負担	22,470円(1割)	44,940円(2割)
食費	基本食事サービス費	41,400円(一日1,380円)	41,400円(一日1,380円)
	補足給付	29,700円(一日1,380円-390円=990円)	0円
	保険給付	0円	0円
	利用者負担	11,700円(一日390円)	41,400円(一日1,380円)
居住費	居住費	25,200円(一日840円)	25,200円(一日840円)
	補足給付	14,100円(一日840円-370円=470円)	0円
	利用者負担	11,100円(一日370円)	25,200円(一日840円)
☆ 補足給付	保険給付計	202,230円 [69%]	179,760円 [62%]
	利用者負担計	89,070円 [31%]	111,540円 [38%] B
	合計	291,300円	291,300円
補足給付あり	保険給付計	202,230円 [69%]	施設収入の基本額は当初の85%となりました。利用者負担を含めた合計額291,300円は平成12(2000)年制度発足時の保険給付計と一致しているのは偶然でしょうか。
	補足給付計	43,800円 [15%]	
	利用者負担計	45,270円 [16%] A	
	合計	291,300円	
金額(万円)		0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 26 28 30 32 34 36	0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 26 28 30 32 34 36
補足給付なし		202,230	179,760 111,540
補足給付あり		202,230	43,800 45,270

(編集：法人事務局 青木 志乃)



しらとり学習サポートサロン(仮称) オープンしました!

多摩同胞会では、平成19年に新たな子育て支援プログラムの実現に向けて職員による作業委員会を発足させ、同委員会は、翌平成20年「法人の資源を活用した家族支援構想」として最終報告をまとめました。

その中で、法人が取り組むべきサロンの一つとして、府中市における中高生を対象とする気軽に立ち寄れる安心スペースとしての居場所づくりを提案しています。具体的方法としては、「若者を個人ベースで包括的・継続的に支援する」「子ども家庭支援センターを拠点に、思春期児童に積極的に対応する」といった目的のために、法人の運営する施設や人材を活用しての学習支援の場やボランティア機会の提供、食事会などの親子の集い等行事の企画運営といった内容が挙げられました。(写真①)

その後更なる検討を重ねる間に、子どもの貧困や社会的孤立の課題は深刻化の一途を辿り、平成26年1月には、国や区市町村が「子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのない社会」を実現することを旨として講ずることを定めた「子ども貧困対策の推進に関する法律」が施行されました。また、平成27年4月に厚生労働省から「社会福祉法人の『地域における公益的な取り組み』について」が都道府県等に通知されるなど社会福祉法人の社会貢献活動実施を求める動きが活発化する中で、「しらとり」は

利用案内



今後は学習だけではなく、本来の目的である子どもたちの健全育成のための安心できる居場所づくりに向けて、イベントや体験活動も予定しています。その一環として、まずは初めての食事会の実施に向けて、現在着々と準備を進めています。地域の皆さまのご期待に添うべく精一杯努力してまいりますので、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

利用を開始するには、保護者同伴の面談による登録手続きをしていただきます。
 対象：中学生(高校生の場合は応相談)
 定員：10名
 実施日時：毎週月曜日 午後5時30分～午後8時30分
 文化センター一休館日の偶数月第1月曜日、祝日、年末年始はお休みです。
 場所：府中市武蔵台文化センター工作室(府中市武蔵台2-2)
 持ち物：筆記用具、勉強に必要な教科書・ノート・参考書など。
 水分補給のための飲料水(センター内では食事はできません)
 費用：無料

スタッフより



「キックオフ」から3カ月が経過した9月の月曜日、「しらとり学習サロン(仮称)」は中高生たちの活気で満ちていました。彼らはほんの数ヶ月前まで知らないもの同士、学校も学年もバラバラです。学校でも家庭でもない場でお互いに出会い、職員や学生スタッフといった大人の他者に出会う中で、子どもたちは、自分のペースでゆっくりと歩んでいるように見えます。

サロンの時間をどう過ごすかは本人次第です。教材を何一つ持たずに、毛糸と編み棒だけを用意して、編み物作品一つ仕上げて帰るといった子をスタッフは見守り、その作業に積極的に関わります。自分を否定されない経験によってサロンがこの子にとって大切な居場所になったのでしょうか、「最高に苦手」で、「完全に無視」をしていた教科の教材を、ある時から持参するまでに至りました。

学習は個人のペースで進められます。誰かが手を休めると自然におしゃべりが始まります。ゲームのこと、アイド

ルのこと、話題はそれぞれですが、次第に笑顔が彼らを結んでいきます。ここで出会った中高生たちは、学習サロンの場を自分たちの「居場所」に作り上げていく仲間になっていました。そんな中高生たちの「居場所」で私たちスタッフは、寄り添い、そっと手を差し伸べる「ほどよい」大人の他者として、彼らの成長を見守っていきたくと考えています。(しらとり相談員 石原 奈穂子)



施設の自主事業として近隣の中学生及び高校生を対象とする学習支援活動開始のための準備を進めてまいりました。

地域の子どもたちにとってより身近な公共施設であるという理由から、府中市「武蔵台文化センター」工作室を活動場所としてお借りすることができました。

平成27年5月25日、そこに地域の関係者の皆さまをお招きして「説明及び意見交換会」を実施し、併せて関係機関にはスタッフ自らが内容説明のためチラシを持参するなどして、地域における新規活動内容の理解と普及に努めました。

そのようにして築かれた協力体制の下、6月8日月曜日、当初の発案から約7年の歳月を経て、2名の中学生の参加と3名の専任スタッフで「しらとり学習サポートサロン(仮称)」がスタートしました。(写真②)

児童福祉施設として様々な役割を担う事業所の性質上、大々的な周知・広報活動には慎重にならざるを得ない事情等の制約はありましたが、地域・関係者の皆さまのお力添えにより、現在サロンには10名の定員に対し6名の中高生が通い、スタッフも4名に増えています。(写真③④)

仲間が集い増えていった時に、子どもたち自身から相応しい名称が授けられてもらえるように、現在まで活動名は取えず(仮称)としています。

スタッフは、子ども家庭支援センターでのワーカー経験の豊富な臨床心理士と子ども家庭支援センター相談員の他大学生2名、その他バックアップメンバーに小学校講師経験者が控え、毎回事前の打ち合わせから振り返りまでしっかりとミーティングを行うなど、全員一丸となって子どもたちへの対応の向上に努めています。

府中市子ども学習支援事業の概要

しらとりの自主活動による学習支援とは別に、府中市では市の公的事業として学習機会の提供を必要とする中学生をサポートするため、地域の学習支援事業に関して豊富な経験を持つ「NPO法人育て上げネット」に委託して学習室を開設し、学習習慣や考える力、基礎学力を獲得できるように子どもたちを支援しています。学習室は、火曜日から金曜日の平日それぞれ違う場所で実施されており、その内水曜日に関しては、しらとりと同じ敷地内にある特別養護老人ホーム信愛泉苑4階の多目的ホールを活動場所として、夕方6時より行われています。

講師は大学生から社会人まで様々な立場の方達が30数名登録をされており、子ども2名に対してスタッフ1名程度の関わりができる体制がとれているということです。水曜日の夕方には、10名以上の中学生が各々泉苑を訪れます。

(お問い合わせは、
府中市福祉保健部生活支援課子ども支援員まで
TEL 042-3335-4191)



私たちしらとり学習サポートスタッフは、先駆的に学習支援に取り組んでこられた「育て上げネット」スタッフの皆さんと積極的に連携し、しらとり・泉苑を拠点としながら、近隣在住の中学生やサポートを必要とする高校生への支援をこれからも実践し、今後更なる地域児童の健全育成の推進、地域の活性化の充実に努めていきたいと考えています。

(しらとり施設長 片岡 高博)

高齢者の生活をサポートする事業のご紹介



介護保険は、地域で暮らす高齢者の方々にとって必要な介護サービスを提供しますが、介護保険を使わないサービスもいろいろあります。今回は、緑苑、あさひ苑、岩本町ほほえみプラザで展開している事業についてご紹介いたします。なおご利用にあたっての詳細は各施設にお問い合わせ下さい。

緑苑 自立支援ショートステイ事業

緑苑には府中市独自の福祉サービス「自立支援ショートステイ事業」があります。65歳以上の介護保険制度を利用していない方（介護認定を未申請の方、また申請したが非該当と判定された方）で、身の回りのことが自分でできる方に、月に7日間を限度に滞在していただき健康管理や生活上のサポートを行う福祉サービスです。利用期間中は管理栄養士が立てた栄養バランスのとれた献立を毎食提供しています。また週に3回の入浴日も設けて、家庭よりやや広い浴槽でゆったりとくつろいで頂いています。施設で催しているスポーツ吹矢やカラオケサークル活動、麻雀クラブ活動などにも参加して頂いて喜ばれています。居室は全個室となっておりますので、周りの方に遠慮されることも無く、プライバシーも保たれています。ご利用された方の中には「ちよっとしたホテルみたい」との感想も頂いています。介護を必要としない高齢者の方も体調をくずして家事ができない、退院後の不安、ご家族が不在になったなどの折に是非ご利用ください。（養護老人ホーム信愛寮主任 平岡 貴弘）



あさひ苑 食事サービス

平成27年4月1日から「見守り訪問食事サービス」改め、「あさひ食事サービス」と名称を変えてスタートしました。高齢者が好みまた季節感のある献立を中心に、栄養バランスのとれた昼食を、府中市第1地区の一部（多磨町、若松町1丁目、紅葉丘、朝日町、白糸台1、2、3丁目）の皆さまへお届けしています。届ける回数は、週1回から8回（月曜日から土曜日）までできる限り希望に応じています。配達時に玄関先ですこし言葉を交わすことだけでも、最近の様子などが分かります。時には心配ごとなどをお話されて、「相談に乗ってくれて助かったわ」と話される場面もあります。これからも、「あさひ食事サービス」を利用して頂くことで、食事をしっかりととり、人とのつながりを持ち、心と体を健康に保ち、皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるようお手伝いしていきます。（あさひ苑在宅サービスセンター次長 比留間 貴）



岩本町ほほえみプラザ 健康回復支援ショート

岩本町ほほえみプラザの4階には、健康回復支援ショート室2部屋ございます。このサービスは千代田区在住の65歳以上の方で、介護保険の要介護認定を受けていないひとり暮らし高齢者の方等を対象に、短期間滞在いただき、健康管理や生活のサポートを行い、自立した在宅生活の継続や在宅生活へのスムーズな移行ができるように支援するサービスです。例えば、体調を崩し入院された方が、退院はしたが、食事の支度や家事をすることに自信が持てない方。また、普段支援している家族が出張などで一時的に独居となり、在宅生活が困難になってしまおう方などにご利用頂いています。滞在中は、一日3食の食事や入浴ができます。外出は、届け出ただけであれば原則自由です。スーパーやコンビニでお買い物して頂く方もいらっしゃいます。また、館内で行われるシルバートレーニングスタジオや介護予防教室に参加し、体力作りや趣味活動を行うこともできますので、滞在期間終了後も、岩本町ほほえみプラザに定期的に通い続ける方もいらっしゃいます。介護は必要としないけれど、一時的に在宅での生活が難しくなった方をサポートするサービスとして取り組んでおります。ぜひ、ご活用下さい。（総合相談員 大日向 龍）



施設だより



収穫の秋

あさひ苑

健康と若々しい歩き方を収穫!!

あさひ苑の周囲は、歩道が整備されており街路樹や自然に恵まれ散歩に適した環境となっております。あさひ苑では、その環境を生かして地域の皆さんが健康維持のために、そして楽しく歩くことが出来るように、ウォーキング講座を開催しています。今年度の前期の講座は既了してしまいましたが、9月からウォーキング講座（後期）の開催を始めました。



講座の内容は、自身のからだの現状を見つめ、その状況に合ったからだの動き方や正しい姿勢、正しい歩き方についてです。「重心を置く位置は…頭の位置はもう少し後ろの方で…腰と腹のイメージは…」等々、講師からの話があります。参加者からは「えっ、もう少しどうなの？…なるほどお…」等の声もあり、講師の話に身を乗り出して聞いている場面もあります。講座の後半には、実際に外を歩いてみて歩き方のチェック。こちらも「あら本ただわ…すいぶんイメージと違うのね」等、実際に変化の違いを体感してもらっています。そう言えば、講座開始に伴い講師から皆さんへ、冗談も交えて目標を伝えていました。「他の人が自分の歩く姿を見て『おお、イイ女だなぁ』（あらイイ男だわ）」と思わず振り返ってもらえるように（騙せる様に？）若々しい歩き方を身につけましょう（笑）！！と。秋と言えば、食欲の秋…芸術の秋…運動の秋…。色々なものの収穫の季節です。この講座で是非、健康と若々しい歩き方を収穫して、いつまでも外出を楽しんで頂けたらと思います。（介護予防コーディネーター 石丸 哲也）

きすな

心の収穫

きすなの学童のベランダでは、大豆を育てています。写真の大豆はまだ青いので枝豆の状態ですが、もっと成熟させて枯れた色になってから、大豆として収穫します。大豆になるまで育てるのは難しいのですが、以前大豆がたくさん穫れた年は、きすな特製の味噌を作りました。そして、もちつき大会の時にその味噌で豚汁を作り、みんなで食べました。

きすなの畑では他にも、とうもろこしやじゃがいも、さつまいもなど、季節によっていろいろな作物を育てており、学童の子ども達が草刈りや収穫をします。長靴に帽子、軍手という畑スタイルで、泥だらけ、汗まみれになりながら土と触れ合う子ども達の姿は、とてもたのしく、キラキラ輝いています。収穫された作物は、カップケーキや芋餅、スイートポテトなどのおやつになり、子ども達のお腹と心を満たしてくれています。



自分達が一生懸命育てた作物を収穫し、料理して食べるということは、子ども達にとって素晴らしい食育となり、思い出深い体験になることだと思います。きすなでは、ただ作物を収穫するだけではなく、大地の恵みや食べ物へのありがたみを感じたり、頑張ることの嬉しいことがあるという体験ができ、子ども達の心の糧にもなっているはずですよ。（心理療法担当職員 富山 真輝）

お芋にかぼちゃ、栗、きのこ。秋はおいしい収穫がたくさんありますね。各施設ではそれぞれどんな収穫があったのでしょうか。

しらとり

こどもたちの秋穫



「どんぐり集めしよー」と張り切って公園を走り出したAちゃん。しゃがんで拾い、形や色、帽子付きか、なしかなど選りすぐりを集めていきあつという間に手はどんぐりでいっぱいになりました。また、どんぐり拾いをしてる時の視界には、きのこが生えていたり、蟻がせっせと荷物運んでいたり。落ち葉の絨毯、それから舌に滑って転びそうになったり、どんぐりを踏むとバリバリミシミシ音が鳴ったりなどいろいろな魅力的な発見がたくさんあり遊びさんあり遊びも充実します。

収穫したものを並べると、どんぐりと落ち葉とあれこれ。蟬の抜け殻? 「かっこいい抜け殻も見つけたよ!」とAちゃん。
夏と秋が混ざった大満足な秋穫となりました。
(母子支援員 山中 有佳)

たっち

どんぐりころころ



秋になると、お芋や栗やかぼちゃなど美味しい食べ物がたくさんあります。ぶどう狩りや栗拾いなど秋の味覚の収穫を楽しむ方も多いのではないのでしょうか。しかし、秋に収穫できるものは食べ物だけではありません。ひろばに遊びに来たKちゃんも、「たくさん拾ったどんぐりでコマを作ったよ!」と、どんぐりのコマで両手をいっぱいにして見せてくれました。子どもたちにとって秋はいろいろな発見や遊びがある「収穫の秋」でもあるようです。
ひろばのスポットタイムでも秋になると、秋のお歌をたくさん歌います。
「やさしいもぐりチーバー」「おおきな栗の木の下で」「きのこ」などなど。味覚だけではなく「秋の収穫」を親子で楽しんでいただけではないと思います。

(支援ワーカー 吉田 智咲)

岩本町

もみじ饅頭を収穫!?



9月に入り夏の暑さも和らいで秋めいてきました。
「皆で秋の歌でも歌おうか。」と歌っていたら、Yさんの「そろそろ紅葉が見たいわね。」との一言で、おやつを持って一階広場へ見に行きました。ところが、まだ時期が早く紅くはなっていませんでした。
「さよ、ね。紅葉にはまだ早いわよね。」と皆さん残念そうですが、職員がおやつのもみじ饅頭を取りだしたら「あら、もみじ饅頭! こっちも良いわね!」と、笑顔。本当は紅葉を収穫したかったけど、緑の葉の下で甘くて美味しいもみじ饅頭を収穫(?)して、お腹も心も満たされました!
「今度は紅くなった紅葉を見にきましようね!」と、美味しいもみじ饅頭を食べながら約束しました。グループホームの皆さんと、秋が深まる頃に紅葉狩りに行きたいと思えます。もちろんおやつはもみじ饅頭です!
(グループホーム介護員 小椋 菜実)

連雀

笑顔の収穫



秋と言えば芸術の秋ですが、かんだ連雀ご利用者にも人気が高いもの。それは音楽です。

かんだ連雀では月に1回音楽療法を行っています。
いつもお部屋で過ごすことが多く、言葉を発することも笑うこともなく、昔から他人と接することも好まなかったと家族からお話があった方。
先日Mさんのフロアで音楽療法があり、お誘いしました。Mさんの反応はいつもと変わらず無反応。職員はMさんの耳元で音楽に合わせて歌ったり、楽器を鳴らしたり。Mさんは楽しんでいたのでうか不安になり音楽療法終了後に「楽しかったですか?」と話しかけると、「うん」と声を出し返答し、「うふふ」と笑ってくださいました。職員はMさんの言葉を聞くのも、笑顔を見るのも初めてで驚き、そして嬉しさでいっぱいになりました。介護の仕事をしている中で一番のやりがいと感じる場所で、今までの日々のかかわりは間違っていないと再確認したひと時でした。

(ホーム相談員 中村 小夜子)

泉苑

秋の収穫祭



秋は美味しい物がたくさんあっていいですね。入職して二十数年、食にまつわる色々な思い出があります。
養護老人ホーム信愛寮のご利用者とは一から畑を作り、秋に芋煮会を企画しました。

「こつしてやると早いんだよ」と成り立てのピーマンを根こそぎ収穫したり、たくさん取れたナスを塩漬けにしたり、日々の活動の収穫を美味しく楽しみました。
現在私が所属しているデイサービスのご利用者の方々も、昼食のメニューを見て自然と故郷の野菜や果物の話に花が咲きます。みなさん、美味しい食べ物のお話は大好きです。

私たちが介護職員は、ご利用者の小さい頃の思い出の味、野菜を育てるコツ、食べ方のヒントなどを人生の先輩方に教えて頂けるのが一番の収穫です。皆さんも是非話題にしてみたいかがでしょうか。
今年も泉苑のデイサービスで育てた柚子が初めて沢山の実を付けました。

(介護員 周木 義広)

緑苑

五感で収穫



9月の中旬に、地域デイサービスの皆さんと府中市郷土の森公園を訪れました。台風と大雨の後で天気心配でしたが、じっとしていても汗ばむほどの好天に恵まれました。毎週顔を合わせる皆さんでも、太陽の下、緑の中で過ごす表情はいつも以上に明るく、声にも元気がありました。

五分咲きの彼岸花や咲き始めの萩の花々は秋の訪れを知らせてくれました。異常気象なのでしょわか、季節感が薄れた最近ですが、植物は季節の変化を無言で伝えていました。

収穫は五感を使って行えるのだと実感しました。「スマートフォンやパソコンばかり見て物事を分かったつもりでいては駄目だ。」と気付いた事が何よりの収穫でした。

(地域包括支援センター相談員 廣井 孝好)

ニュース

法人主催セミナー開催

「新たな生活支援サービスを考える」

子どもたちも、高齢者も、一人ひとりが力を出し合い支え合う暮らし

平成17年度より始まった韓国一校学院との交換研修は、今年で10回目となる予定でした。(平成24年度は東日本大震災により中止)これを記念し、両国でこれまでの研修成果を報告するセミナーを開催する企画を準備しておりましたが、韓国で発生した感染症を考慮して今年度の研修はすべて中止になりました。

せっかく準備していた企画を終わらせるには惜しいと、平成27年7月16日、緑苑地域交流スペースにて「新たな生活支援サービスを考える」というテーマでセミナーを開催し、これまでの韓国での研修で学んだことを現在の仕事にどのように活かしていくかについて職員5名が発表しました。参加者からは、特に子どもへの学習支援に高い関心が寄せられました。

(上野廣美)



↑ブ口顔負けの韓国の方の作品展示



御寄贈・御寄付ありがとうございます

あかしや会 有限会社秋山酒店 御伊藤忠テクノソリューションズ 稲葉悦子 江田廣子 大沢良三 株式会社菊久 株式会社小平ケミカル 北山夏まつり実行委員会 北山ホームサービス社 栗林正昭 御劇団飛行船 健康麻雀の集い無垢の会 西條モモ代 塩澤佳津子 セカンドハーベスト・ジャパン 浅間町三丁目自治会 浅間町二丁目自治会 浅間町婦人会 高砂会 田島信雄 田辺十二子 千代田区社会福祉協議会 御電通関西支社 土肥陽子 東京都食肉生活衛生同業組合 NPO法人日本伝統芸能振興会 有限会社産商商店 沼倉倫子 御ひなり 比留間敏夫 古澤弘江 ヘルシーフード株式会社 母子募福ちどり会 御ポリシヨイサーカス 緑町三丁目自治会 武蔵台二・三丁目地域づくり推進委員会 望月友子 老人クラブ東校会 (2015年7月〜2015年9月)

ボランティアの御協力ありがとうございます

会田久枝 青野まり 赤林好子 朝日町保育所 味澤明子 網代恵美 荒井道子 荒波智子 有本陽子 飯塚喜奈子 池田妙子 田巻を樂しむ会 石井悦子 石井久子 石井宏 石井好子 石坂勝世 石坂トメヨ 石澤圭子 市川アイ子 市川知子 伊藤徳三郎 井上智美 岩崎順 植松八千代 魚川桂子 歌のつばさ 内保三重子 内堀美喜 梅林あや子 梅林治代 遠藤薫 梅原洋 浦多恵子 卜部和子 上床晃代 遠藤伊代 遠藤圭太 遠藤洋子 遠藤みつよ 遠藤陽子 大久保幸子 大倉弘子 大島庸子 太田キミ江 太田久美子 大貫裕子 大野文子 大宮千里 大森幸 形美理 緒方シゲ子 緒方智恵美 岡田基子 小川健治 萩野和子 奥山亜子 奥山チャ子 小倉直子 オコサの会 小崎厚子 尾崎節子 尾崎綾之 尾崎靖重 尾崎ヨシ子 尾崎佳子 押立翠の会 音楽園 小貴良子 おはなし夢くらぶ 思い出童謡の会 折田浩一 海江田紀久子 空閑豊子 鹿島千重子 鹿島キチ 梶山アサミ 梶原栄造 粕野美千代 片桐キミ子 カットサロンアベ 加藤静 加藤規子 加藤久江 加藤美美子 加藤洋子 金澤静江 金子武仁 上沢美和子 上柳えみ 亀岡紀福 川崎雅人 川名初江 川名悠里 神崎佐和子 北島美恵子 木谷教子 北村よしこ 木村伊都子 木村加代子 木森哲 桐山恭子 日下部恭子 尾嶋郁子 鮎節枝 國定典 久野晃 田原耶子 蔵内睦子 栗原宏子 榎式典 小岩井小池和子 小石鏡子 小出辰一 小出由美子 小岩井雅人 高岡寺阿波踊り胡蝶連 国府よさこい 越地勤子 越川幸子 小島恵美子 小島孝子 小島ユミ子 小島百合子 後藤祐輝 小嶋いさ子 小林幸代 小林照子 小林真弓 小林道子 小林美代子 小林わか子 駒ヶ嶺泰秀 小柳シズエ 是永美代子 紺野和子 今野幸子 ザ・ボデインショップ 齋藤孝子 齋藤智恵子 齋藤千枝子 酒井和子 坂井香奈枝 酒井紗弥香 酒井美喜子 坂本越子 佐久間桂子 櫻井功 櫻井正治 さくらんぼ保育園 佐々木八重子 佐々野久美子 佐藤英子 佐藤和子 佐藤公子 佐藤妙子 佐藤なな子 佐藤初江 佐藤ミドリ 佐野田鶴子 椎名君代 塩澤佳津子 重田文字 下町かつづね 雅 品田啓子 島田光子 清水文枝 清水光子 下江美鈴 下宏子 秀麗会 ジョアン・フエアチャイルド 女子学院中学マンドリンギター班 白石富美子 進藤サエ子 進藤輝子 新村信子 杉本節子 鈴木暉子 鈴木妙子 鈴木好枝 鈴木嘉子 スターバックスコヒーバー 瀬戸真子 浅間の森ハンドベルの集い 袖みづほ 高井洋子 高鍋恵子 高橋恭子 高橋ちよ子 高橋智子 藤澤千登勢 竹内砂恵子 竹内由美子 武野純子 竹松あゆみ 田島南海 田島まよ 辰本ケイコ 田中久美子 田中美智子 谷野みよ子 田部美智子 玉木由美子 多摩スマイル吹奏楽団 田村知江子 丹野由紀子 千葉幸子 土屋とき枝 堤明 寺町律子 寺村京子 東郷雪枝子 東樹クニ子 戸島正子 柳谷さき 長尾真樹 中垣孝子 中下秀子 長島広美 長峯和洋 中村清美 中村フサ子 中村美佐江 中村恭俊 那須史子 西久保長子 西村珠美 二宮澄子 野坂昭昭 野橋いせ 植崎聖子 能登すみ子 萩原八枝 橋満 橋本真子 羽鳥みのる 藤田真理奈 林比典子 早矢仕房男 原田園彦 原田澄子 原田康子 原田江 樋口よし子 肥後住江 土方玲子 尾藤幸子 平泉順子 平岡美津子 平澤みどり 田田佳子 平田三千雄 広木きく江 福田佐代子 藤田京子 藤田マサ子 府中市詩吟連盟 府中市立白糸台小学校合唱団 府中市立第六中学校吹奏楽 府中シンフォニックウインドアンサンブル 府中囃子下染屋支部 船岡栄子 舟見三佐子 ふれあいクラブ浅間 保坂良子 星野ユキエ 星野若佐 堀田武三郎 堀切重明 孫田一昭 政所優季 町田知行 松尾和枝 松沢信子 松下朗 松下健 松田恵子 松野アイ 松原美恵子 丸田のぶ子 丸山啓子 三浦やす子 三坂和子 ミスタマツク 三輪孝子 宮本登美子 宮崎清子 宮下美智子 明神淑恵 明神伶子 村井福子 治安田生命 本野幸子 百瀬洋子 森脇敦子 モルガンスターレン 八重の会 谷貝祥子 山川希子 山田孝子 山田一 山田佳津江 山田ケイ子 山田順子 山田山子 山野栄治 山本孝子 ゆうかファミリア ユーロクリア・バンク 横尾美知子 横道悦子 吉川澄恵 吉田恒雄 吉田睦子 米山君子 米山秀子 渡辺一恵 渡辺勝彦 渡辺久代 渡辺良人 渡辺浩美 渡邊房子 (2015年7月〜2015年9月)

介護に関するご相談は
無料ダイヤルで！
●泉苑
0120-6540-24
老後支援 24時間
●あさひ苑
0120-2942-24
福祉にっこり 24時間

多摩同胞会の
ホームページを
携帯でもどうぞ！

甘いものを欲する季節になりました。食欲の秋に負けず、スポーツの秋にもしていきたくたいと思います。

(泉苑 青木美沙子)
ラグビーワールドカップ日本×南アフリカ、興奮してしまおう。秋は大好きなカンパチ、アジなどが旬なので楽しみます。

(緑苑 丸山徹)
冬に向けて体が蓄えようとするのでしようか。食欲が出てついつい食べ過ぎてしまいませんか。

(あさひ苑 中嶋恵子)
紅葉の秋、今年は高尾山におにぎりを持って紅葉狩りに行くかと思っています。もちろん、リフトもケーブルカーも乗らずに参道を歩いて登ります。

(かんだ連合 浅見達也)
過ぎやすい気候になり、散歩することが増えました。秋の散歩は食欲の誘惑に負けず、目標達成に向けて取り組んでいます。

(事務局長 上野廣美)

(しらとり 山中有佳)
大地の恵みに感謝して、秋の味覚を楽しみたいですね。

(あさひ苑 富山真輝)
収穫について考えていた秋の始まり。すでに秋の味覚を楽しみすぎて、体重が気になります。

(たっち 吉田智咲)
お寿司が食べ物の中で一番好きです。秋は大好きなカンパチ、アジなどが旬なので楽しみます。

(事務局長 一色瑞生)
社会福祉法の一部改正案は継続審議となり、次の国会にて成立の見通しはわかりませんが、いつの時代も変わらぬ「社会福祉の本質」を考え続けたいと思っています。

(事務局長 青木志乃)
94号でお伝えした次世代育成支援計画のひとつ「日曜祝祭日保育」が、11月から始まることになりました。次の目標達成に向けて取り組んでいます。